

社協だより

～やさしさとおもいやりを～

本 郷

発行 松本市社会福祉協議会 本郷支会
編集 社協だより編集委員会

(電話 0263-46-1500)

令和8年度 役員
社会福祉協議会本郷支会
及び本郷地区福祉検討会

社会福祉協議会本郷支会

支会長 入山 鉄朗

副支会長 小池 文雄

副支会長 鳥羽 良武

本郷地区福祉検討会

会長 入山 鉄朗

副会長 鳥羽 良武

副会長 田口 悦久

よろしく願います。

本郷地区福祉検討会では、本郷地区地域福祉計画・活動計画の取組みを継続し、さらに充実・強化を図っていくため重点目標を定めました。令和6年度からは各町会へ訪問し、取組みの状況の把握、町会役員との意見交換を実施しています。今年度も町会との懇談会を予定しておりますのでご理解とご協力をお願いいたします。

*「第3期本郷地区地域福祉計画・活動計画」は、松本市ホームページの本郷地区のページからご覧いただけます。

地区担当新任職員紹介

4月の人事異動により3名の地区担当職員に異動がありましたので新任職員をご紹介します。

*本郷地区地域づくりセンター

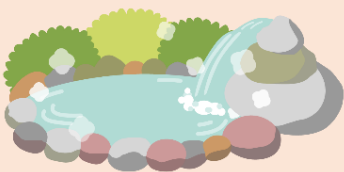


センター長
やまぎし おさむ
山岸 修さん

4月より本郷地区地域づくりセンター長として着任しました、山岸修と申します。

本郷地区は、「松本の奥座敷」と称される浅間温泉をはじめとした豊かな自然と観光資源に恵まれた地域です。また、住民同士の支え合いや地域福祉の取り組みが非常に活発に行われ、地域コミュニティのつながりが強いエリアでもあります。

一日も早く、地域の皆様のお役に立てるよう、精一杯取り組んでまいりますので、皆様のお力添えをよろしくお願いいたします。



センター長補佐
かみじま ふみえ
上嶋 文江さん

4月から本郷地区地域づくりセンターへセンター長補佐として着任しました、上嶋文江と申します。

文化と歴史と自然が豊かな本郷地区の中で働けることを大変光栄に思います。

本郷地区の皆さんは、地元愛がとて深く、多くの取り組みがされており、そのパワーに感心するばかりです。そんな皆さんのお役に立てるよう頑張っていきたいと思いますので、何卒よろしくお願いいたします。

*本郷地区南郷福祉ひろば



コーディネーター
みむら みちこ
三村 道子さん

4月から南郷福祉ひろばに勤務しております、三村道子です。ご縁があり、このたび初めて福祉関係の仕事に携わることになりました。利用者の皆様には私と同年代の方も多く、健康で明るい毎日を過ごしていただく

ためのお手伝いができればとの
思いで勤めております。

毎月様々な活動が行われる現場で、多くのことを学びながら充実した日々を送っています。福祉ひろばや公民館活動をより多くの方に知っていただき、活用していただくきっかけをつくること
が、皆様の暮らしの充実につながる
のではないかと感じております。
す。この仕事を通じて多くの方々
と出会う機会をいただけたことに
感謝し、微力ではありますが、
南郷福祉ひろばの運営のお役に
立てるよう努めてまいります。
何かと至らない点もあるかと思
いますが、どうぞよろしくお
願いいたします。

町・会・と・ぴ・っ・く・す

横田第二町会サロン

「どんぐりかい」

嶋田 あさみ

「地域の高齢者が孤独にならず、楽しいお茶会を通じて友達の輪を広げられたら」そんな思いで始まった横田第二町会サロ

ン「どんぐりかい」は今年で五年目を迎えました。

サロンの企画や進行を担うのは元民生委員や元健康推進委員といったボランティアの皆さんです。毎回参加者が笑顔になれる多彩な催しを企画しています。これまでの活動では、お茶を飲みながらのおしゃべりはもちろん、モルックやボッチャゲームに挑戦し、初めて顔を合わせる人同士でも、自然と力を合わせてゲームを楽しみました。さらにギターの伴奏に合わせて歌のレクレーションや地域の行政担当者をお招きして「支援だより」などのお知らせを分かりやすく解説してもらう学びの時間も好評です。

この温かい友達の輪がさらに広がり、みんなで楽しく過ごせる場所としてこれからもずっと続いていくよう歩んでまいります。



◆ご長寿さん◆

お元氣なご長寿の皆さんに民生委員・児童委員が「健康の秘訣」をお聞きしました。

＊浅間温泉第五町会
豊森 一二三（ひふみ）さん



（九〇歳）

張りのある
明るい声と笑
顔が素敵な豊
森さん。若い頃から洋裁、編み物、キルト、ガーデニングなど多くのご趣味をお持ちです。ご自宅の庭は美しいバラが咲き、リビングはご自分で作られたキルトの作品が飾られており、心地良い空間が広がっていました。健康法はラジオ体操をする、何でも食べる、歩くなど負担のない範囲で出来ることはする等、お陰で足腰も丈夫です。これからも前向きに地域の方と交流を持ち、沢山話したり笑ったりして楽しみたいと話してくださいました。穏やかに明るく過ごされている生活が豊森さんの若さを保つ秘訣なのだと思います。

＊惣社二丁目町会

荻久保 八重子（やえこ）さん

（九七歳）



定年まで公務員としてお勤めの後、三〇年間、

佐藤文子先生に師事し、俳句を

楽しんでるそうです。不安な

漢字があれば、常に机の傍らに

置いてある辞書で調べます。「今

は（スマホなどで）すぐわかる

時代だけだね。」と笑いながら

仰っていました。昨年までは町内

のゲートボールに参加されてお

り、女性初の審判員の資格もお

持ちであると、アクティブな一

面ものぞかせています。

市内に嫁いだ娘さんが毎朝決

まった時間に来られて、仏壇に

手を合わせながら二言三言言葉

を交わしていつてくれるのが張

り合い。孫やひ孫も九人おり、

「みんな優しいし、いい子なの

よ。」と嬉しそうに語られています。

自分のできることはやり

たいと明るく話す笑顔が健康の

秘訣なのでしょう。